



大阪年金者組合

聞こえのバリアフリーを！

補聴器助成推進ニュース

2024.2.19 12号

大阪市北区天神橋1-13-15 大阪グリーン会館6階
TEL06-6354-7207 FAX06-6354-7746

島本町

令和6年度施政方針



島本町長が補聴器助成を**表明**

島本町の山田紘平町長は令和6年度の「施政方針」の中で、高齢難聴者が補聴器を購入する費用の一部を助成する制度創設を表明しました。また、自転車乗車用ヘルメット購入費用の補助を行うことも明らかにしました。

年金者組合島本支部は2020年から毎年町議会に対して国への制度創設を求める意見書を提出（3年連続不採択）と共に、島本町独自の制度創設を要望してきました。

また、島本町年長者クラブ（加入者1353人）も2023年8月の町への要望の中で「補聴器購入時の自治体支援」を求めています。

島本支部の山本隆書記長は「支部はこれまでの4年間、毎年、町長へ「要望書」を提出してきました。今年の要望の際は、府本部作成の「補聴器助成資料集」を渡して内容を説明し実施を強く要望しました。昨年までは毎年「町独自ではできない」の回答でしたが、今年の回答では「近隣自治体の状況等を踏まえ、検討」と変わり注目していたところですが、制度内容はまだわかりませんが制度創設は「一歩前進です」と語っています。



令和6年度 施政方針

島本町長 山田紘平

「加齢等により聴力が低下し、医師が補聴器使用を必要と認めた高齢者に対し、補聴器の購入費用の一部を助成することで、社会参加や地域交流を促進し、認知症やフレイルの予防に努めてまいります」
〈一部抜粋〉

※フレイル・・・ 加齢により心身が老い衰えた状態

お知らせ

赤旗日刊紙の「ニュース問答」のコーナーに、補聴器助成について掲載されます。年金者組合大阪府本部調べで助成自治体数も紹介されます。2月21日(水)に掲載予定です。